

# 北総の湧水調査区画 No.8

調査地点: 手賀沼水系金山落しの水源谷津 所在: 鎌ヶ谷市/柏市(旧沼南町)/白井市  
調査日 2007年 月 日 調査者名 \_\_\_\_\_



金山落し水源谷津の集水域(水質調査地点と水源の土地利用の関係に注目する)

## 水質調査を行う上での3つの視点

### 水系内での水の流れを把握する

地形を読む(土地の高低が水の流れの向きと強さを決める)、水源、合流点、出口

### 人為的な汚染負荷の実態を把握する

集水域内で人工的な土地利用がされているところはどこか、汚水が流入する地点をさがす

### 生物の生息環境としてとらえる

湧水、水路、池の形状、広さ、周囲の植生、人工護岸の有無

## 水系内の水の状態(水量、水質、水温)は集水域の土地利用によってほぼ決まる

- \* 湧水の水量 = 降水量 × 浸透係数(地面にしみ込む水の割合)
- \* 湧水の水質と水量は、浅い地下水ほど季節変化が大きく、深い地下水ほど安定
- \* 河川が増水する程度 = 降水量 × 流出係数(地面にしみ込まず、地表面を流れざる量)
- \* 植物の蒸散と地面からの蒸発によって、気温が安定する。すなわち、
- \* 蒸発係数(蒸発して大気に戻る水の割合)が大きいほど気化熱によって温度が下がる

## 調査地点のタイプチェックリスト

- 1) 湧水  崖からしみ出す  地面から湧き出す  その他
- 2) 水路  土水路  コンクリート水路(2面)  コンクリート水路(3面)
- 3) ため池  コンクリート護岸  自然堤防  その他
- 排水の流入  流入している  流入していない

# 北総の湧水調査 区画 No.8

調査地点: 手賀沼水系金山落しの水源谷津 所在: 鎌ヶ谷市/柏市(旧沼南町)/白井市  
 調査日 2007年 月 日 調査者名 \_\_\_\_\_  
 天候 \_\_\_\_\_ 最近の降雨日 月 日 (降水量 mm) \_\_\_\_\_

調査地点番号	1	2	3	4	5
調査地点タイプ					
測定開始時間					
気温 (°C)					
水温 (°C)					
透視度 (cc)					
水質					
硝酸イオン					
亜硝酸イオン					
COD					
リン酸イオン					
その他					

区画の総面積 (台地+斜面) (谷底)  
 樹林地面積 (%)  
 島・果樹園面積 (%)  
 水田・湿地面積 (%)  
 開発地域 (住宅地など) 面積 (%)

気付いたこと

## 北総の湧水調査 区画 No.8

調査地点: 手賀沼水系金山落しの水源谷津 所在: 鎌ヶ谷市/柏市(旧沼南町)/白井市  
相観植生図からみた区画8の特徴

区画の総面積 (台地+斜面) (谷底)  
樹林地面積(%)  
島・果樹園面積(%)  
水田・湿地面積(%)  
開発地域(住宅地など)面積(%)



## 3月4日までの宿題

**指標種 12 種の種類別取りまとめ責任者を決める**

これまでに記録した指標種 12 種の記録を各自以下のように整理して、責任者に手渡す  
3月4日（13時半から16時半）に、その資料を集計して種類ごとにまとめ、  
種別に確認記録表をエクセルに入力して作成し、分布図を作る  
分布の様子について気がついたことをメモとして記す（記録者名を忘れずに）

**エクセルに入力する必要最小限の記録項目**

記録した生物の種類名

記録した年月日

記録した区画の番号

記録者氏名

可能であれば、確認した環境の区分（樹林地、畑、草地、水田、休耕田または湿地、住宅地、河川、池または沼または調節池）を記録する

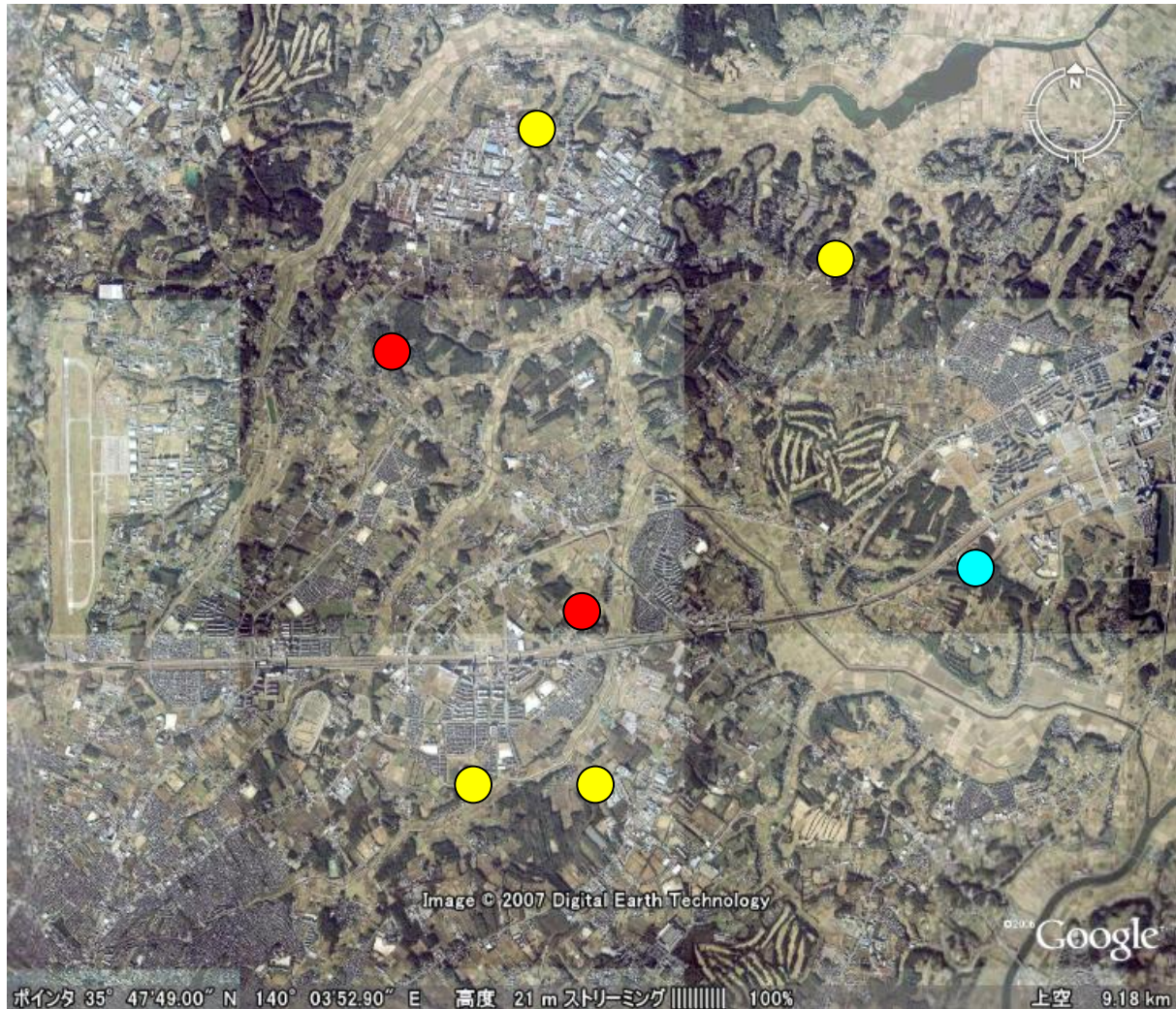
記録した場所は白地図に直接記入する

## 指標種：ニホンアカガエル *Rana japonica*



調査期間：2006年2月～3月

調査方法：卵塊数カウント（絶滅● 50以下● 100以上●）



### 気付いたこと

1980年代に記録されていた折立と複の水田ではなくなっていた。南山中学校のビオトープには、富が沢ビオトープから卵塊を1つ2006年3月に持ち込んだ。谷田のかも場はこの地域でも最大の繁殖地である。名内では少ないながら安定した卵塊数がある。しかし、どの場所もかも場やビオトープのように、水田耕作ではない水場にたよって生息している。

記録取りまとめ（森田考恵・相馬なおみ）

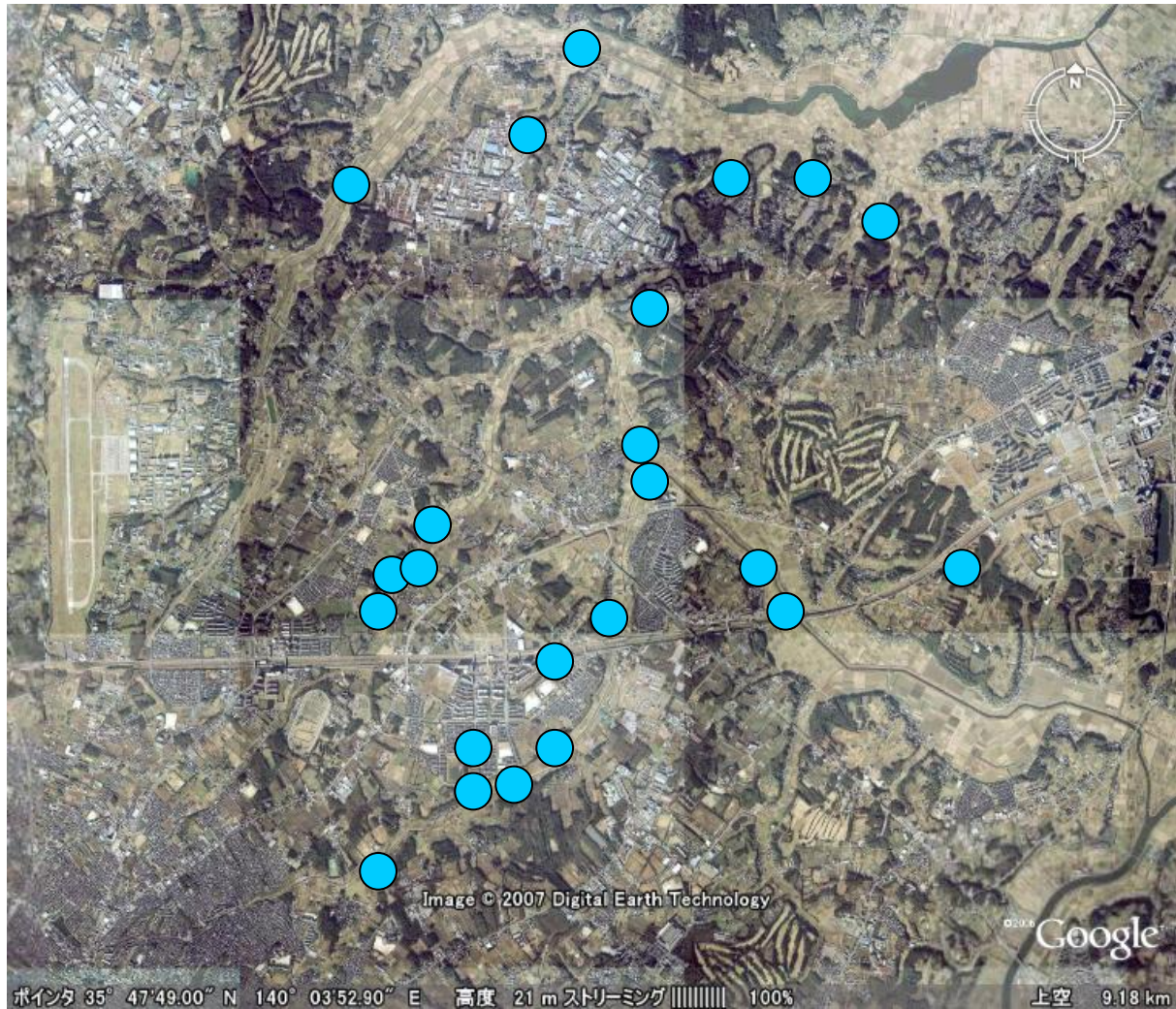
調査担当（森田考恵・相馬なおみ）

## 指標種：カワセミ



調査期間：2005年1月～2007年1月

調査方法：目撃記録 (●)



気付いたこと

記録取りまとめ (斎藤昭夫)

調査担当 ( )